

自他のよさや違いを認め合い、ともに高め合う心豊かな児童生徒の育成  
～人権を尊重した学び合い・関わり合いを通して～

萩市立佐々並小学校

## 1 研究主題解明に向けて

本校を含めた旭地域（旭中学校・明木小学校・佐々並小学校）は、令和3年度から文部科学省人権教育推進地域事業を受け、研究調査を行っている。このことに先駆け、本研究主題のもと、令和2年度から昨年度までは明木小・旭中と佐々並小がそれぞれで実践を重ね、その実践を相互交流する中で旭中学校区として研究主題解明に取り組んできた。令和5年度は、萩市の全ての学校が小中一貫教育校となったことに合わせ、旭中学校区においても小中一貫教育校として9年間の教育目標を明確化し、これまで以上に一体的に一貫した系統的な学びをめざすこととした。このことを踏まえ、今年度の全ての研修を旭中学校・明木小学校・佐々並小学校の3校合同で進めてきた。具体的には、研究組織を「授業づくり推進部」と「人間関係づくり推進部」の2つに分け、「自己存在感をもたせる支援」「共感的関係を育成する支援」「自己選択・決定の場の設定」の人権尊重の3視点を基盤におきながら、旭中学校区においてめざす児童生徒の姿に向けて主題解明にあたってきた。

## 2 活動計画及び内容の概略

### (1) 年間研修計画

3校合同研修会

- ・リモート会議 年間7回（5月・6月・9月・11月・12月・1月・2月）
- ・授業研究会 年間3回 明木小（6月）旭中（10月）佐々並小（11月）

### (2) 授業づくり推進部取組

- ① 第1回 授業研究会（6月28日） 授業者 明木小学校 北島教諭  
国語科複式授業 5年「たすねびと」、6年「やまなし イーハトープの夢」  
指導助言者 萩市教育委員会学校教育課 複式学習指導員 三輪みゆき 先生
- ② 第2回 授業研究会（10月18日） 授業者 旭中学校 竹下教諭  
英語科 中学校2年「Homestay in the United States」  
指導助言者 萩市立萩東中学校 英語教育指導員 月成庄造 先生
- ③ 第3回 授業研究会（11月15日） 授業者 佐々並小学校 西村教諭 Luke ALT  
外国語科「Lesson8 What would you like？」  
指導助言者 山口大学教育学部附属山口小学校 中野光彦 先生

### (3) 人間関係づくり推進部取組

#### ① 3校交流学习

この学習は、年2回（6月、11月）、旭中学校・明木小学校・佐々並小学校全児童生徒が集まって行っている。旭地域3校の連帯感を深めると共に、9力年を通した縦割り班で活動することにより学年に応じた役割を考え、協力できるようにすることをねらいとしている。人間

関係づくりを意識した関わり合い活動の充実を図る学習である。1回目は6月15日に明木小学校・旭中学校を会場に行った。最初に旭中学校生徒会の進行により、中学生のアイデアでくじを使った自己紹介をしたり、各校の校歌の披露を行ったりして異年齢の縦割り班で交流を深めた。縦割り班の交流学習後は、低・中・高学年に分かれての授業を行い、より多くの仲間と共に学ぶ中で、多様な考えに触れる機会となった。また、中学校の教職員による授業も行い、中学校へのなめらかな接続と共に、より専門的な質の高い学びをすることができた。2回目は佐々並小学校を会場に午前中は小学校同士の交流学習、午後は佐々並小学校5・6年生と旭中学校の生徒と一緒にボランティア活動を行った。昼休みには交流活動も行い、笑顔が多く見られ、児童生徒の心の距離がより近くなっていることを感じることができた。交流活動を繰り返す中で、中学生は会を企画運営する過程で自ら考え行動する力が高まり、また小学生と関わることで他者を思いやる心が育っている。また、小学生はそうした中学生の姿をモデルにそれぞれの発達段階に応じて力を伸ばしたり、他者との関わり方を学んだりしている。そして、この好循環を続ける中で、児童生徒はよりより人間関係づくりを進めていくことができる。



### 3 研修成果及び今後の課題

「自己存在感をもたせる支援」「共感的関係を育成する支援」「自己選択・決定の場の設定」の人権尊重の3視点については全ての教育活動の基盤となるものであり、本研修主題のもと、この3視点を大切にしながら授業づくりや人間関係づくりを行ってきたことは、3校の全教職員にとって大きな財産となった。また、小中一貫教育校として研修課題を共有して全ての研修を明木小学校・旭中学校で行ったことにより、旭中学校区において、めざすべき児童生徒像や必要となる資質・能力について3校の全教職員が共有できたことも大きな成果である。また、こうした取組の中で小学校、中学校の教職員同士の相互理解や小学校、中学校それぞれの文化についての相互理解が進んだことによりさらに小中一貫教育を押し進めることができた。このことが児童生徒のよりよい成長につながっていると言える。

「人権を尊重した学び合い・関わり合い」を研修主題としての取組については、今年度で一区切りとなるが、何度も述べているように人権尊重の3視点は全ての教育活動の基盤であるため、今後の教育活動においても全教職員の土台として取り組んでいく。その上で、明木小学校・旭中学校・佐々並小学校、それぞれの学校の特色を生かしながらも、旭中学校区でめざしている身に付けさせる資質・能力の「かかわる力」「考える力」「表現する力」を3校教職員で共有し、より具体化しながら小中一貫教育を進めていくことが必要であると考えている。